



〈止水機能付〉

給湯暖房用熱源機

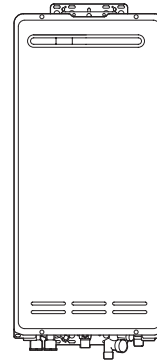
ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

型式名： RUH-VK1610W
RUH-VK1610A
RUH-VK1610BOX

機器コード： 11-009-31-00279
11-009-31-00280
11-009-31-00281

取扱説明書

保証書付



このたびは、ガス給湯器をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書には、ガス給湯器を安全に正しく使用していただくために必要な注意事項、使用方法が記載されています。本機器を使用する前によく読み、十分に理解した上でご使用ください。

この取扱説明書はいつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときお読みください。

この取扱説明書の48ページが保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。



東京ガス株式会社

〒105-8527 東京都港区海岸1丁目5番20号

5101636000

DC-15



51016360

もくじ

はじめに 1

安全のための注意

必ずお守りください 2

各部の名前とはたらき

機器本体 11

リモコン 12

準備してください

初めて使うとき 15

時計を合わせる 16

給湯を使うとき

お湯を使う 17

給湯温度を変える 19

優先スイッチの使いかた 21

お風呂に湯はりするとき

お風呂にお湯をはる 23

ふろ設定湯量を変える 26

ふろ設定温度を変える 27

お湯が出なくなったら 29

その他の機能

音声の大きさをえる 30

ゆらぎのシャワーを使う 31

浴室から人を呼びたいとき 33

暖房を使う 34

凍結予防

冬の凍結による破損予防について 35

長期間使用しないとき 39

点検・お手入れ

点検のポイントとお手入れ 40

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に 41

こんな場合は故障ではありません 42

故障表示 43

仕様

仕様 44

サービス

アフターサービスについて 45

保証書

保証書 46

取扱説明書

ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

110093100279
110093100280
110093100281

01

はじめに

本書の使いかた

初めてお使いになるときには、ひと通りお読みください。

使いかたが分からなくなったときなどは、表紙の「もくじ」から該当する項目を探して、そのページをご覧ください。

本書の構成

本書は、以下の11の項目から構成されています。

(※表紙に「もくじ」を設けてあります。)

- 安全のための注意 本品を使用する上での注意事項を記載しています。機器をお使いになる前に、必ずお読みください。
- 各部の名前とはたらき 各部の名称と機能を記載しています。
- 準備してください 最初にお使いになる際にいただきたい内容を記載しています。
- 給湯を使うとき 水栓やシャワーでお湯を使う場合の操作方法を記載しています。
- お風呂に湯はりするとき お風呂に湯はりする方法を記載しています。
- その他の機能 暖房の使いかたおよび付加的な機能を記載しています。
- 凍結予防 冬期など寒い時期に機器および付帯設備の凍結を予防するための方法を記載しています。長期間ご使用にならない場合にもお読みください。
- 点検・お手入れ 快適に長く機器を使用していただくためにお客様にいただきたい、点検とお手入れの方法を記載しています。
- 故障かな?と思ったら 症状別の対処方法や、故障表示に関する情報を記載しています。機器の調子が変わなと思ったらお読みください。
- 仕様 機器の仕様と能力を記載しています。
- アフターサービス アフターサービスを依頼される場合のご注意や、保証、機器の修理・移設に関するお知らせを記載しています。

本書で使用する絵表示について

- 参照ページおよび参照箇所
- 用語** 用語説明
- 仕組み** 仕組みの説明
- ヒント** 使いかたのヒント

※安全にお使いいただくためのご注意に関する絵表示については、次ページを参照してください。

必ずお守りください

安全のための注意

この取扱説明書では、誤った取り扱いによる危害・損害の程度を次のように区分しています。お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容は下図の通りです。よく理解して正しくお使いください。

	危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	お願い	この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

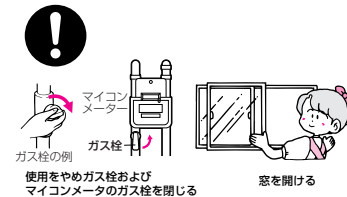
絵表示の意味

- 一般的な危険警告注意
- 火災注意
- 高温注意
- 感電注意
- 一般的な禁止
- 触れるな
- ぬれ手禁止
- 分解禁止
- 火気禁止
- 必ず行うこと
- 電源プラグをコンセントから抜け
- 必ずアース線を接続せよ

危険

ガス漏れ時の処置

- ただちに使用をやめガス栓およびマイコンメーターのガス栓を閉じ、窓や戸を開けてから、もよりの東京ガスへご連絡ください。
 - 係員が処置するまでは、電気製品（換気扇など）のスイッチ操作や電源プラグの抜き差し、マッチ・ライターなどの使用は絶対にやめてください。周辺の電話も使用しないでください。
- 火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



- 火を使ったり電源プラグの抜き差し禁止
- 電気器具（換気扇など）のスイッチの「入・切」禁止
- ガスのおいひする場所での電話の使用禁止

必ずお守りください

安全のための注意

⚠ 危険

屋内に設置しない

- この機器は屋外設置用です。屋内や浴室に設置しないでください。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になり大変危険です。



⚠ 警告

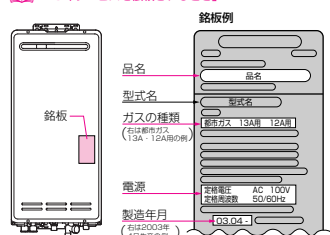
ガスの種類と電源を確認

- 機器前面の、下図に示す位置に銘板を貼付してあります。
 - 銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）を確認してください。銘板に表示のガス、電源以外では使用しないでください。
- 異なるガスや電源で使用すると、爆発点火や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒や火災、機器破損の原因となります。
- 不明な点はお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。
- 移設や移転の場合は、販売店／転居先のガス事業者（供給業者）へご相談ください。



銘板確認

📖 P45「サービスを依頼される時」



この機器はAC100V（50/60Hz）用です。AC100V以外の電源電圧では使用できません。

工事は資格必要

- この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

囲い禁止

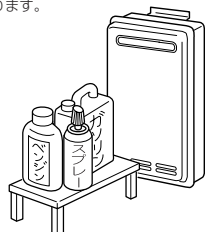
- 増改築などによって屋内の状態にしたり、ビニールや波板などで囲いをしないでください。また、外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など、シートで家屋の壁面を覆うことがあります。そのような場合は使用しないでください。

不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



引火のおそれのあるものの使用禁止 スプレー缶厳禁

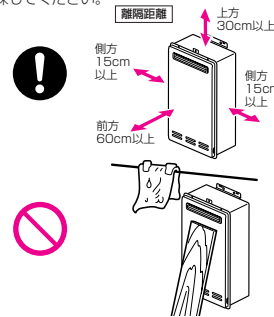
- 機器や排気口の周囲には、引火しやすいもの（ガソリン、ベンジン、灯油など）やスプレーなどを置いたり、使用したりしないでください。引火して、火災のおそれがあります。
- 機器や排気口の周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かないでください。熱でスプレー缶内の圧力上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



⚠ 警告

可燃物に注意

- 機器や排気口の周囲には燃えやすいもの（木材、紙、洗濯物）を置かないでください。火災など、思わぬ事故の原因となります。
- 機器は、周辺のものとは常に下図の離隔距離を確保してください。



ガスの接続について

- この機器のガス接続はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへ依頼してください。

お子様に対する注意

- 浴室で遊ばせないでください。浴槽に水のある場合は特に、浴槽に落ちておぼれるなど思わぬ事故の原因となる場合があります。
- 一人でお湯を使わせないでください。思わぬ事故の原因となります。
- 浴槽にもぐったりしないように注意してください。思わぬ事故の原因となります。



異常時の処置 地震・火災などの緊急のときには

- 機器の異常（排気口から煙が出るなど）、臭気、異常音、水漏れなどに気づいたときは、すぐに使用をやめ、下記の処置をして、販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。

📖 P45「サービスを依頼される時」



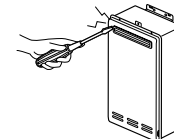
- 地震、火災など緊急のときも同様に処置してください。

※これはガスが漏れたときの処置方法ではありません。ガス漏れに気づいたときは・・・

📖 P2「ガス漏れ時の処置」

分解禁止

- お客さまご自身では、機器やリモコンを分解したり、修理・改造はしないでください。感電やけが、故障の原因となります。



取扱説明書

ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

110093100279
110093100280
110093100281

01

必ずお守りください

安全のための注意

警告

お湯を使うときはやけどに注意

- お湯を使うときは給湯温度表示を確認し、必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- 以下の場合には、一瞬熱いお湯が出る場合がありますので、出始めのお湯は体にかけないでください。特に小さなお子さまには一人で湯を使わせないでください。
 - ・お湯を一度止めて再度使用するとき
 - ・高温のお湯を使った直後
 - ・湯量を急に少なくした場合
 - ・夏期など水温の高い時期にお湯を少しだけ使おうとした場合
 - ・トイレの水を流すなどして、給水圧が変化した場合
- シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水が出て思わぬ事故につながる場合があります。
- 給湯栓で湯量をしぼりすぎると、熱いお湯が出たり、水になったりします。特に水温が高いときは、給湯温度を低くしても湯量が少ないと熱いお湯が出る場合があります。こんなときは湯量を増やさず、水と混ぜてお使いください。
- 給湯使用中はシャワー金具や水栓本体が熱くなりますので、やけどにご注意ください。



入浴するときはやけどに注意

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。



高温注意



温度確認

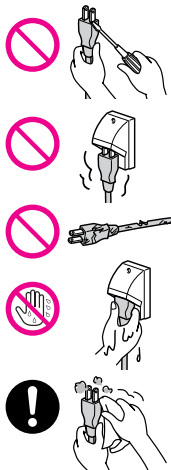


入浴時のご注意

- 浴槽にもぐらないでください。思わぬ事故の原因となります。

電気事故防止のために

- 電源コードを加工したり無理な力を加えないでください。感電、ショートや発火による火災の恐れがあります。
- 電源プラグは確実にさし込んでください。さし込みがゆるいと、感電や火災の原因になります。
- 傷んだ電源プラグ・電源コードは使用しないでください。
- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。火災の原因になります。



感電注意

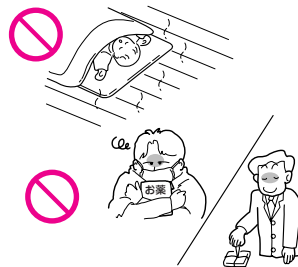
許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

警告

低温やけどに注意

- 床暖房の上に長時間座ったり、寝そべっていると、低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周囲の方の気配りが必要です。
 - ①乳幼児・寝たきりのお年寄り・ご病人など、自分の意志で体を動かせない方
 - ②疲労の激しいとき
 - ③皮膚の弱い方
 - ④皮膚感覚の弱い方
 - ⑤お酒や睡眠薬を飲まれた方

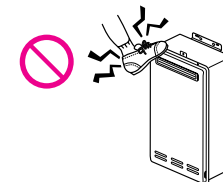


使用中の外出・就寝禁止

- 給湯したまま、就寝・外出はしないでください。思わぬ事故の原因となります。

無理な力を加えない

- 機器本体や付帯設備の上に乗ったり、重量物をのせたりしないでください。けがや故障の原因となります。機器に無理な力が加わると、破損や故障の原因となります。



優先スイッチ使用時のご注意

(リモコンを2個以上設置しているお宅の場合)

- 優先スイッチを使用する場合、他の人がお湯を使用していないか確認してください。優先を切り替え給湯温度が変更されると、思わぬ熱いお湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故やけがの原因となることがあります。
- 優先を切り替えたときには、必ずリモコンで給湯設定温度を確認してください。温度が変わっていることがあります。



注意

他の機器との接続について

- この機器をソーラー（太陽熱温水）システムに接続しないでください。高温のお湯が出てやけどをすることがありますのでご注意ください。

つららに注意

- 冬期は特に、排気口の下に立ち入らないでください。積雪時の雪解け水や排気中の水分が凍結して、つららとなって落下し、けがの原因となります。

取扱説明書

ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

110093100279
110093100280
110093100281

01

必ずお守りください

安全のための注意

⚠ 注意

高温のお湯を水と混ぜて使うとき

- やけど防止のため、お湯を出すときは先に給水栓を開け、次に給湯栓を開けてください。お湯を止めるときは先に給湯栓を閉じ、次に給水栓を閉じてください。(混合水栓の場合)

用途について

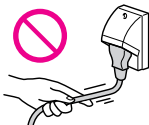
- 台所、洗面所、浴室などの給湯やシャワー、お風呂への湯はりおよび暖房以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故の原因となります。

排気口に指や棒を入れない

- 排気口に指や棒を入れないでください。
けがや故障の原因となります。

電源コードを持って引き抜かない

- 電源コードを引っばってプラグを抜かないでください。コードが断線して発熱・発火の原因となります。



ゆらぎのシャワー使用上の注意

- 次の方はゆらぎのシャワーを使用しないでください。体調をくずすことがあります。

- ① 妊娠中の方
- ② 医者から入浴を禁じられている方
- ③ お酒を飲んだあとや深酒をされた方
- ④ 高血圧の方
- ⑤ 体力の弱っている方
- ⑥ 体調の悪い方



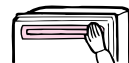
放熱器によるやけどに注意

- パネルヒーターの表面はさわらないでください。やけどのおそれがあります。特に小さなお子様のいる家庭では注意が必要です。



排気口でのやけどに注意

- 使用中、使用直後は排気口とその周辺は高温になりますので、さわらないでください。



接触禁止

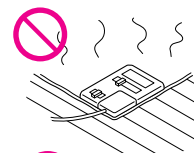
アース必要

- この機器はアースが必要です。アースされていることを確認してください。

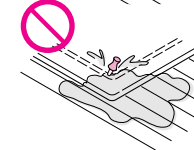


床暖房の破損防止のために

- 床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。床材の割れ・そり・隙間の原因となります。



- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損します。



お願い

薬品や洗剤などに関するご注意

- 塩素系のカビ洗剤、酸性の浴室用洗剤、塩素系または酸性の消臭剤、塩などが機器やガス管などにかかったときは、すぐに十分に水洗いをしてください。
思わぬ事故や故障の原因となります。

運転「切」で給湯栓を開けない

- 運転スイッチが「切」の状態では給湯栓を開けないでください。水を使用する場合、混合水栓は「水」の位置で使用してください。
「湯」の位置で水を使用するなどして機器内配管に冷水が流れると、機器内が結露して機器の寿命を短くします。

水による着色について

- 給水配管が新しい場合や水質によっては、銅イオンがわずかにお湯の中に溶出し、青色の化合物が生成され、浴槽やタオルなどが青くみえることがあります。健康上支障ありませんが、中性洗剤で洗い、よくすすぐと発色しにくくなります。

断水時のご注意

- 断水すると使用できません。使用中に断水すると停止します。
暖房運転は使用できますが、補水運転に入ると停止して使用できません。
- 給湯栓や給水栓を開けたままにしておくと、水の供給が復帰したときに、水が流れたままになります。ご注意ください。
- 水の供給が復帰したら、出始めの水は使用せず、十分に水を流してから使用してください。
断水中の給水配管内には、飲用や調理用に適さない水が留まっていることがあります。

一般家庭用品です

- 業務用のような使用頻度の高い使い方をすると機器の寿命を短くします。

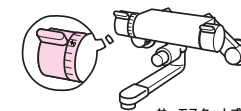
停電時のご注意

- 停電すると使用できません。使用中に停電すると停止します。
- 給湯中に停電するとお湯が水になります。ご注意ください。
- 電力の供給が復帰したときに、現在時刻が表示されていなかったり、給湯温度設定が変わっていることがあります。表示を確認して、必要に応じて調節してください。
- 冬期など凍結のおそれがある場合は、水抜きをしてください。
停電すると凍結予防ヒーターや自動ポンプ運転が働かなくなり、通常の寒さでも機器内の水が凍結して、破損事故・水漏れ故障の原因となることがあります。

📖 P36「水抜きによる凍結予防」

水栓について

- 水栓にはいろいろな種類があります。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。お湯の温度が不安定になります。
- サーモスタート式水栓をご使用の場合はリモコンの給湯温度はご希望の温度（ハンドルの温度）より高めにしてください。



サーモスタート式水栓

電源を切らない

- 長期間ご使用にならない場合以外は、電源プラグをコンセントから抜いたり、分電盤のブレーカーを落としたりしないでください。
冬期は特に、電力の供給が断たれると凍結予防ヒーターが作動しなくなり、凍結などの故障の原因となることがあります。

必ずお守りください

安全のための注意

お願い

雷時の注意

- 雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグを抜くか、分電盤の専用のブレーカーを「切」にしてください。
- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- 雷がやんだ後に、電源プラグを差し込み、現在時刻を設定してください。

- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグが濡れていないことを確認した上でコンセントにしっかり差し込み、現在時刻、温度の設定を再度行ってください。



冬期または長期間使用しないとき

- 冬期は凍結予防をしてください。
P35-38「冬期の凍結による破損予防について」
- 長期間使用しないときは水抜きをしてください。
P39「長期間使用しないとき」

積雪時のご注意

- 機器や排気口が雪でふさがれないようにご注意ください。ふさがれそうなときには、安全に注意して、除雪してください。
- 雪でふさがれると、使用中自然消火したり点火不良の原因となります。ごんときは…



機器への積雪注意

P45「サービスを依頼されるとき」

- 屋根から落ちた雪が機器や排気口をふさいだり破損するおそれのあるときは、屋根の雪止め工事を工事に依頼してください。

お手入れの際の注意

- お手入れは機器が冷めてから行ってください。
- けがには十分ご注意ください。
- 機器やリモコンを洗剤、ベンジン、シンナーでふいたり、タワシなど固いものでこすらないでください。
- 浴槽、洗面台はこまめに掃除して清潔にお使いください。

日本国内向けです

- 海外での設置および使用はしないでください。
- 思わぬ事故の原因となります。この場合は当社では責任を負いかねます。



国内のみで使用

温泉水や自家用井戸水で使うと

- 水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

燃焼排ガスについて

- 植物やペットなど、燃焼排ガスによって加熱されると困るものや悪影響を受けるものは、排気口の周囲に置かないでください。
- 増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓、ガラス、網戸、アルミサッシなどに当たらないようにしてください。
- 変色・破損・腐食の原因となります。

飲用に使うときは

- 機器内に長時間たまった水や朝一番にお使いのお湯は、飲んだり調理に用いないで、雑用水としてお使いください。

お願い

適合する別売品以外は使わない

- この機器に適合する別売品以外は使用しないでください。
- 事故や故障の原因となります。

リモコンの取り扱いに注意

- 台所リモコンおよび増設リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。
- 故障の原因となります。
- お子様がいたすらないよう、注意してください。
- 炊飯器、電気ポットなどの蒸気や温風をあてないようにしてください。
- 故障の原因となります。

リモコンからテレビやラジオを遠ざけてください

- テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。
- 画像や音声か乱れることがあります。

機器の設置状態についての確認

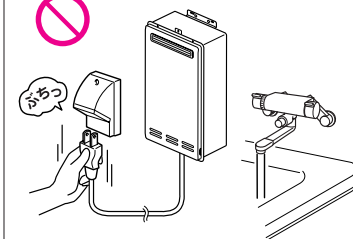
- 下記の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスに連絡し、設置場所を変更してください。
- ①機器は傾いて設置されていませんか？
- ②冷・暖房や換気扇の吹き出し口や吸い込み口付近は避けてありますか？正常な燃焼の妨げになることがあります。
- ③棚の下など落下物の危険はありませんか？
- ④メンテナンスができない場所に設置されていませんか？メンテナンスをお断りすることがあります。
- ⑤排気口への積雪や、屋根から落ちた雪で給・排気口が閉塞されることがありませんか？不完全燃焼の原因になります。
- 増改築などによって、燃焼排ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。ガラスなどの変形・変色の原因となります。

点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火をリモコンの表示で確認してください。

運転停止時の注意

- 機器が給湯中、ガス栓を操作して消火しないでください。
- 機器が給湯中、電源プラグをコンセントから抜いて消火しないでください。



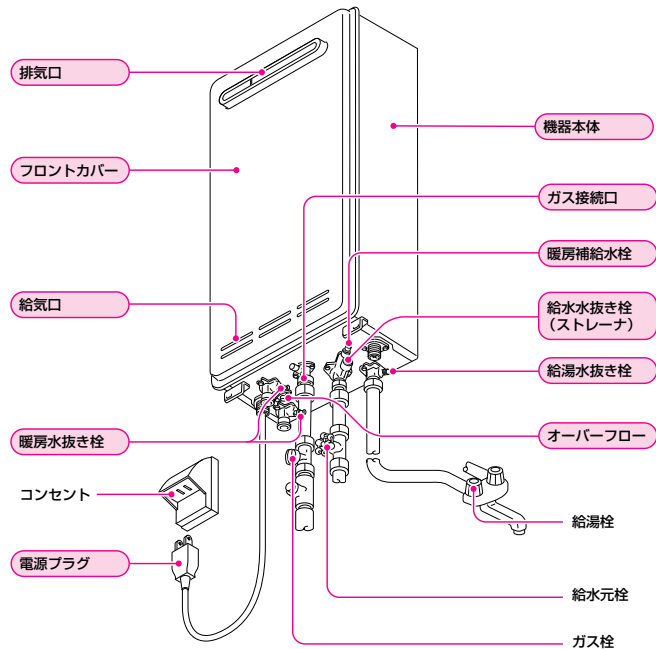
強化ガスホースの注意

- 強化ガスホースは、折れたりねじれたりしないようにしてください。ガス漏れの原因になります。
- 強化ガスホースがひび割れたり差し込み口がゆるくなってしまう場合は、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご相談ください。

機器本体

各部の名前とはたらき

機器本体の各部の名前を確認してください。



付属品：

- 取扱説明書
- 東京ガス事業所一覧

別売品

- 浴室リモコン IBR-03A-V
- 台所リモコン IKR-03A-V
- 増設リモコン SC-70-KG

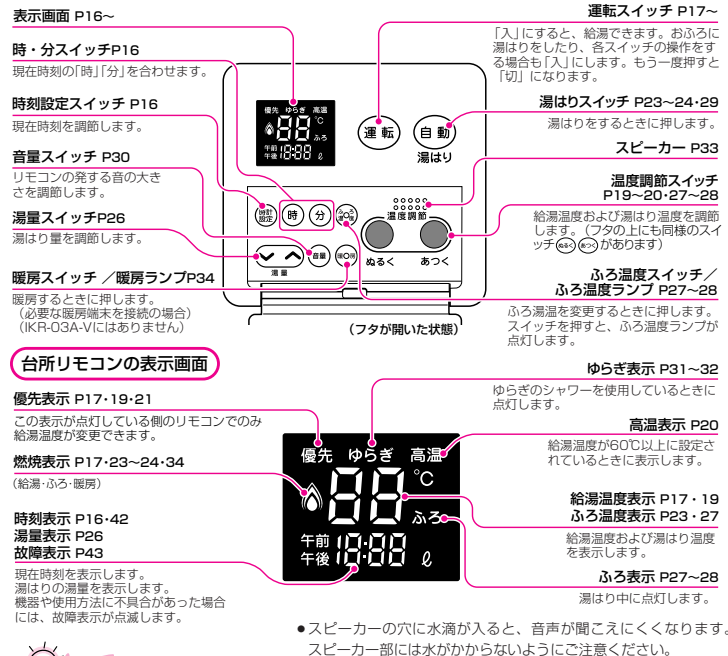
●図は ID-2803ARS-Q の設置の一例です。ID-2803ARS2-Q・ID-2803ARS7-Q は設置形態および排気口部の形状が異なります。また、給水元栓・ガス栓・コンセント・給湯栓・配管の形状などは、この図と異なることがあります。

リモコン

各部の名前とはたらき

リモコンの各部の名前を確認してください。
表示部は実際の運転状態を示すものではありません。

台所リモコン IKR-03A-V / IKR-03A-DV



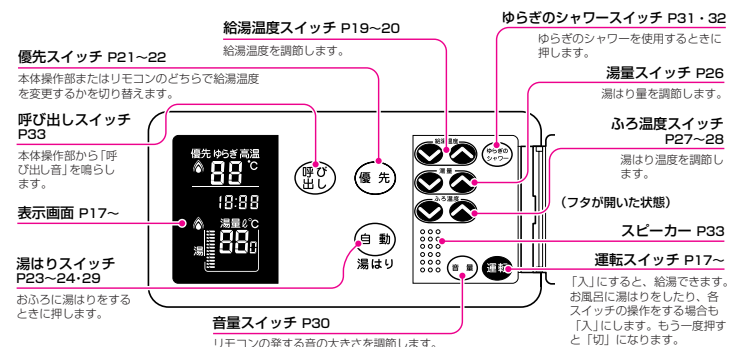
リモコン操作時のご注意

- 各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。
- 操作確認音・お風呂への湯はり完了ブザーや音声は、(左) (右) を、2 個を同時に 3 秒以上押すことによって消すこともできます。ただし、正しい操作が行われなかったときに消す音声だけは消すことはできません。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

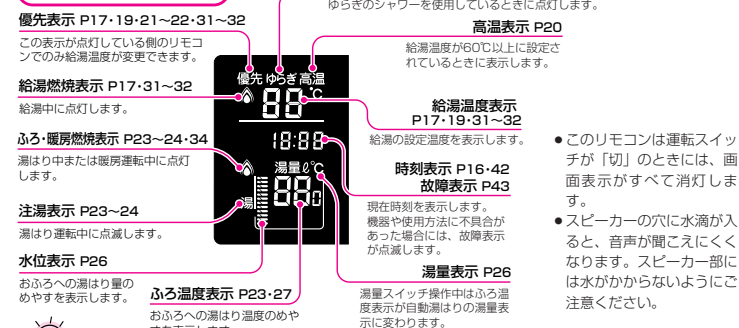
リモコン

各部の名前とはたらき

浴室リモコン IBR-03A-V



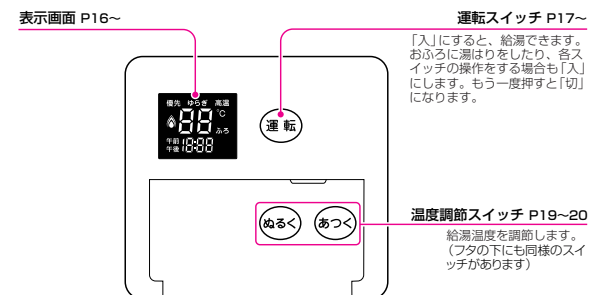
浴室リモコンの表示画面



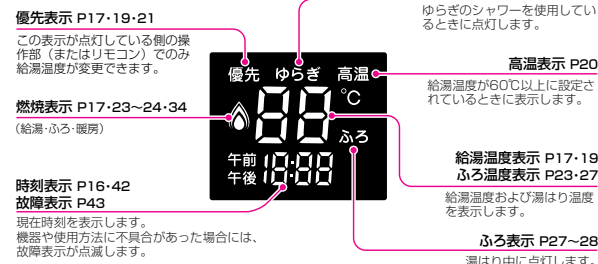
リモコン操作時のご注意

- 各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音や音声でお知らせします。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
- 操作確認音・お風呂への湯はり完了ブザーや音声は、 を、2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。ただし、正しい操作が行われなかったときに音声が消すことはできません。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

増設リモコン SC-70-KG



増設リモコンの表示画面



リモコン操作時のご注意

- 各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音でお知らせします。
- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確かめてください。
- 操作確認音は、 2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

初めて使うとき

準備してください

初めて使うときは、次の準備が必要です。

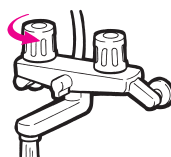
- 1 給水元栓を全開にする。

機器の下部に給水元栓があります。



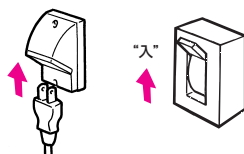
- 2 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉める。

お湯の使用場所。



- 3 電源プラグをコンセントに差し込む。
(分電盤の専用スイッチを「入」にしてください)

機器付近の壁・分電盤。



- 4 ガス栓を全開にする。

機器の下部にガス栓があります。



警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない

●電源プラグをコンセントに差し込む際は、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。



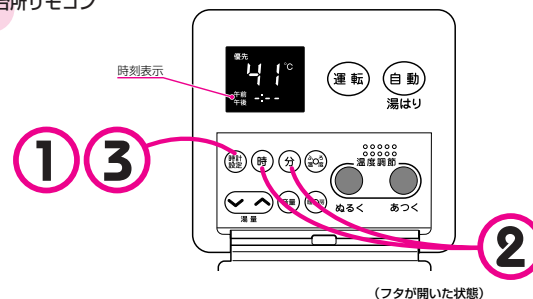
時計を合わせる

準備してください

最初にお使いのときには時計合わせをしてください。

(台所リモコン IKR-Q3A-V または IKR-Q3A-DV を設置している場合のみ)

台所リモコン



- 1 台所リモコンのフタを開け、**時計設定** を押す。

初めて電源を入れた時には、時刻表示時には **午前 12:00** が点滅します。

時計設定 スイッチを押すと、時刻表示部が **午前 0:00** となり、点滅します。

- 2 **時** **分** を押して現在時刻を合わせる。

時・分スイッチを押しながら現在の時刻を画面に表示します。

※押し続けると、連続的に数字が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。

- 3 **時計設定** を再度押す。

時刻設定スイッチを押した瞬間に秒は0秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。

運転スイッチを押して「入」にすると、すべてのリモコンに現在時刻が表示されます。

※押し続けると、連続的に数字が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら1回ずつ押すようにします。



ヒント

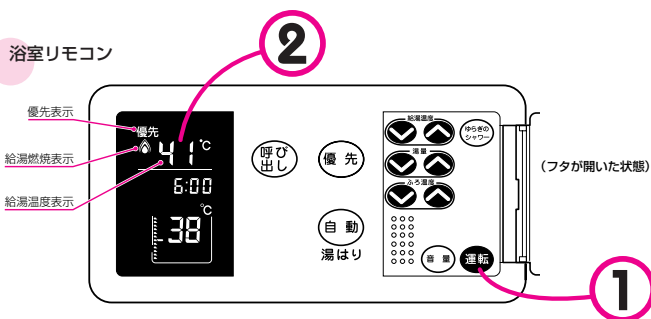
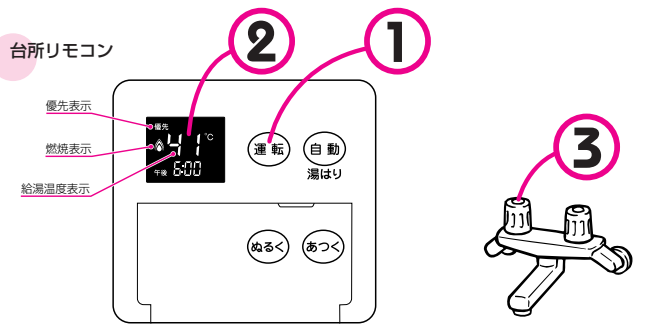
時刻合わせについて

- 午前と午後を間違えないようにご注意ください。
- 停電したり電源プラグを抜いたときの再通電時には **午前 12:00** の表示に戻ります。設定をしておいてください。

お湯を使う

給湯を使うとき

どのリモコンでも操作できます。



- 増設リモコンでの操作は台所リモコンと同様です。
- 優先表示は、いずれか一方のリモコンにのみ点灯します。



警告

お湯を使うときはやけどに注意

- お湯を使用している本人以外（特に小さなお子さまなど）は給湯温度を変えないでください。
- お湯を使うときは給湯温度を確認し、必ず手でお湯の温度を確認し、湯温が安定してから使用してください。
- お湯を一度止めて再度使用するときは、一瞬熱いお湯が出る場合がありますので、出始めのお湯は体につけないでください。



高温注意

① 運転 を押し「入」にする。

台所リモコンおよび増設リモコンの運転スイッチが緑色に光ります。浴室リモコンは表示画面が点灯します。

※浴室リモコンを設置の場合、運転スイッチを「入」にしたリモコンには、優先表示が点灯します。

📖 P21-22 「優先スイッチの使いかた」

② 給湯温度を確認する。

給湯温度を変えるときは…

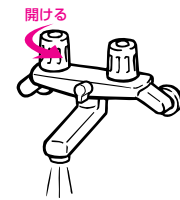
📖 P19-20 「給湯温度を変える」

③ 浴室のシャワーや給湯配管先の給湯栓を開けてお湯を出す。

給湯栓を開けると、燃焼表示および給湯燃焼表示が点灯し、しばらくしてお湯が出ます。

給湯栓を閉じると、燃焼表示および給湯燃焼表示が消え、お湯が止まります。

※湯量を絞らず（毎分約2リットル以下にする）とバーナの火が消えます。



仕組み

給湯について

- リモコンの運転スイッチが「切」の状態では水を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して機器の寿命を短くします。
- 給水温度が高い場合は、リモコンの温度表示よりもあついお湯が出る場合があります。

ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

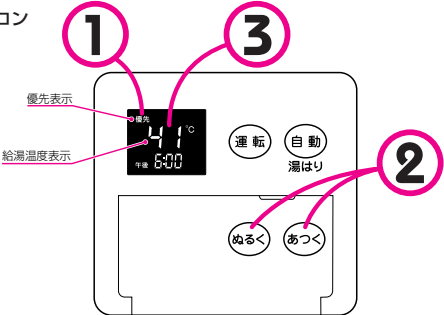
110093100279
110093100280
110093100281

給湯温度を変える

給湯を使うとき

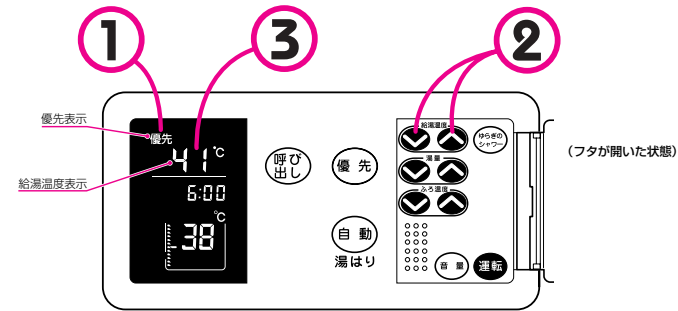
お買い上げの際、給湯温度は42℃に設定してあります。
リモコンを、台所が浴室のいずれか1個設置の場合には、優先表示は点灯したままになります。

台所リモコン



●増設リモコンでの操作は台所リモコンと同様です。

浴室リモコン



1 優先表示が点灯していることを確認する。

浴室リモコンを設置していない場合は、台所リモコンの優先表示は点灯したままになります。

2 ぬるく あつく で、給湯温度を設定する。

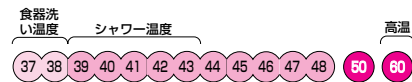
浴室リモコンの場合は、給湯温度スイッチ  で設定します。

3 表示画面で給湯温度表示を確認する。

台所リモコンの表示画面では、給湯温度表示とふる温度表示（湯はり時の温度表示）は同じところに現れます。

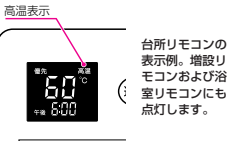
仕組み

給湯温度のめやす



-  または  を押し続けると、45℃までは連続で変わります。46℃以上にするときは、スイッチを1回ずつ押してください。
-  または  を押し続けると連続で変わります。
- 表示している温度と実際の温度は、配管条件などにより必ずしも一致しません。目安としてください。
- 給湯温度を60℃にセットすると、表示画面に高温表示（赤）が点灯して注意を促します。右図を参照。
- 一度設定した給湯温度は変更するまで記憶しています。（停電があった場合も給湯温度は記憶されます。）
- サーモスタット水栓をご使用の場合は…

 P8「水栓について」

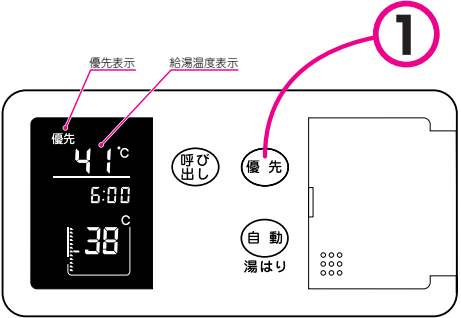


優先スイッチの使いかた

給湯を使うとき

浴室と給湯配管先には、同じ温度のお湯を供給します（給湯温度はどのリモコンでもいつも同じ温度を表示します）。そのため、お湯を使用中、他の人が給湯温度を変えてしまうとお湯の温度が変わりやけどをすることがあります。このような事故を防止するため、どちらか一方の（優先権のある）リモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。

浴室リモコン



- 1 浴室リモコンの（優先）スイッチを押す。**
- （優先）を一回押すたびに、優先権が、浴室リモコン→台所リモコン（増設リモコン）→浴室リモコン…と交互に切り替わります。
- 優先になったリモコンの表示画面に優先表示が点灯します。
- 浴室リモコンが優先になった場合は（優先）がオレンジ色に光ります。



警告

お湯を使うときはやけどに注意

- 給湯温度を変更するときや優先を切り替えるときは、他の人がお湯を使っていないことを確認してください。他の人がお湯を使っていると、そこのお湯の温度も変わるためやけどをすることがあります。
- 優先を切り替えたときは、必ず給湯温度を確認してください。温度が変わることがあります。



高温注意

仕組み

給湯温度設定の優先権

- 台所リモコンと浴室リモコンは、それぞれが優先権を持っていたときに設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると、優先権を持つリモコンが記憶していた温度が給湯温度になります。



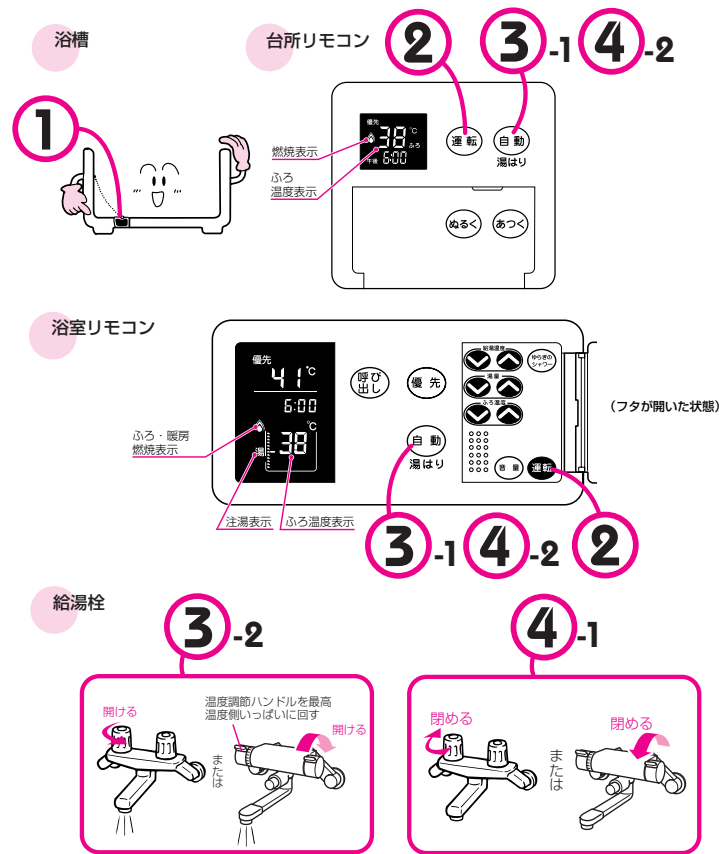
- 給湯温度の変更以外は、どちらのリモコンでも、優先権に関係なく設定したり使用することができます。
- 浴室リモコンまたは台所リモコンのいずれか1個しか設置していない場合、優先表示は点灯したままになります。

※運転「切」の状態から運転「入」にした当初は、運転スイッチを押した側のリモコンが優先権を持ちます。

お風呂にお湯をはる（湯はりのオートストップ機能）

お風呂に湯はりするとき

湯はりのオートストップ機能を使うと、設定湯量を湯はりしたのち、機器が自動にお湯を止めます。台所リモコン、浴室リモコンのいずれでも操作できます。



- 増設リモコンには湯はりスイッチはありません。
- 優先表示は、優先権のあるリモコンにのみ点灯します。

1 浴槽の排水栓を閉める。

2 運転 を押し「入」にする。

台所リモコンと増設リモコンの運転スイッチが緑色に光り、浴室リモコンは表示画面が点灯します。

ふろ設定温度とふろ設定湯量を調節する。

※初めてお使いになるときはふろ設定温度は42℃に、ふろ設定湯量は180リットルに、設定されています。

※ふろ設定温度は、湯はり中でも変更することができます。

📖 P27-28 「ふろ設定温度を変える」

📖 P26 「ふろ設定湯量を変える」

3 自動湯はり を押してから、浴槽のお湯の蛇口を開けて、湯はりを始める。

湯はりスイッチを押すと、音声で「浴槽へお湯を入れる準備ができました。ふろのお湯の蛇口を開いてください。」とお知らせします。お湯の蛇口を開けると、湯はりが始まります。

※混合水栓をお使いの場合は、水が混ざらないようにしてください。温度調節機能付き（サーモスタット式）の混合水栓をお使いの場合は、必ず下記のページを参照してください。

📖 P25 「混合水栓をご使用の場合」

※湯はり中は、台所リモコン・増設リモコンの温度表示がふろ（湯はり）温度表示に変わります。また、台所リモコンに燃焼表示・浴室リモコンにふろ・暖房燃焼表示と注湯表示が点灯します。

※湯はりに中に他の蛇口でお湯を使用すると、浴槽への湯はり量が設定した湯量より少なくなります。

4 湯はりが終わったら、お湯の蛇口を閉めてから自動湯はり を押して「切」にする。

湯はりが終了すると、ブザーもしくは音声で「湯はりが終わりました。ふろの蛇口を閉めてから湯はりスイッチを押してください。」とお知らせし、湯はりスイッチが点滅します（増設リモコンからは音声は出ません）。お湯の蛇口を閉めてから湯はりスイッチを押してください。

※「混合水栓」をお使いの場合は、その機構により冷水が少量、出たままになることがあります。必ず開閉ハンドルを閉めてください。

📖 P25 「混合水栓をご使用の場合」

※お湯の蛇口を閉め忘れると、あとでお湯が使用できなくなりますのでご注意ください。

📖 P29 「お湯が出なくなったら」

湯はりを途中でやめるときには…

設定湯量の半分以下で止めるときは、給湯栓を閉めてから 自動湯はり を押して「切」にします。

設定湯量の半分以上で止めるときは、給湯栓を閉めれば 自動湯はり は自動的に「切」になります。

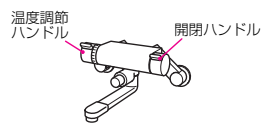
お風呂にお湯をはる

お風呂に湯はりするとき

仕組み

混合水栓をご使用の場合

- 混合水栓での温度設定が低かったり、また冷水側が開いていた場合には、冷水が回りこんで、リモコンで設定した湯はり温度よりもぬるいお湯が出たり、湯はり量が設定より多くなることがあります。
- 温度調節機能付き（サーモスタット式）の混合水栓の場合は、湯はりが終了して機器が自動的にお湯を止めた後も、冷水が少量、出たままになることがあります。これは異常ではありませんが、そのまま放置するとお湯の温度がぬるくなったり浴槽からお湯があふれることがあります。湯はり終了のお知らせブザー（もしくは音声）が鳴りましたらすぐに混合水栓の開閉ハンドルを閉めてください。



※イラストは温度調節機能付き混合水栓の一例です。

仕組み

お湯の蛇口を閉め忘れと…

- 機器が自動的にお湯を止めますが、このままではお湯が使えない状態になります。お湯の蛇口を開いてもお湯が出ない場合は、一旦すべてのお湯の蛇口を閉めてください。その後点滅している湯はりスイッチを押して「切」にすればお湯が使えるようになります。お湯の蛇口を閉め忘れのまま湯はりスイッチを「切」にはできません。（音声で蛇口を閉めるようお知らせします）

📖 P29 「お湯が出なくなったら」



警告

やけどに注意

- 入浴するときは、必ず手でお湯の温度を確認してください。



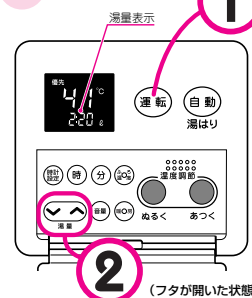
高温注意

ふろ設定湯量を変える

お風呂に湯はりするとき

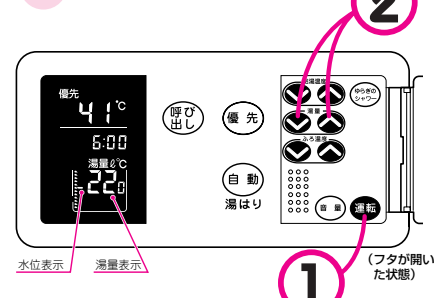
台所リモコン、浴室リモコンのいずれでも操作できます。お買い上げの際のふろ設定湯量は 180 リットルです。

台所リモコン



(フタが開いた状態)

浴室リモコン



1 運転 を押し「入」にする。

台所リモコンと増設リモコンの運転スイッチが緑色に光り、浴室リモコンは表示画面が点灯します。

2 湯量スイッチで湯量を調節する。



仕組み

水位表示について

- 湯量スイッチの ・ を押すたびに水位表示は 1 目盛ずつ上がり、湯量は右表のようにふえていきます。ただし、お子様のいたすらなどを防止するため、400 リットルや 990 リットルに設定するときには、 ・ を 1 秒以上押し続けなければ設定できないようになっています。また、400 および 990 リットルに設定したとき水位表示は表示されません。
- 湯量スイッチの ・ を押すたびに水位表示は 1 目盛ずつ下がり、湯量は上表のようにへっていきます。ただし、80 リットルや 60 リットルに設定するときには ・ を 1 秒以上押し続けてください。
- 湯量変更後は、台所リモコンの湯量表示は約 5 秒後に時刻表示に、浴室リモコンの湯量表示は約 5 秒後にふろ温度表示に、それぞれ戻ります。

湯量 (リットル)	水位表示部 の拡大
(990)	
(400)	
350	
300	
280	
260	
240	
220	
200	
180	
160	
140	
120	
100	
(80)	
(60)	

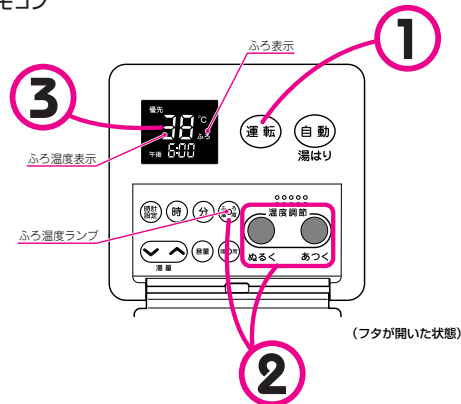
↑ を押すとふえる
↓ を押すと下がる
初期設定

風呂設定温度を変える

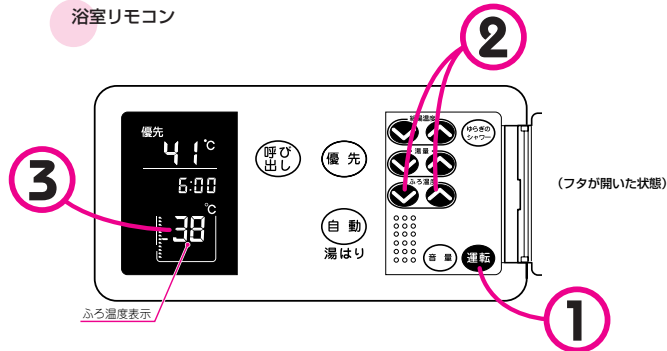
お風呂に湯はりするとき

台所リモコン、浴室リモコンのいずれでも操作できます。
お買い上げの際の風呂設定温度は 42℃ です。

台所リモコン



浴室リモコン



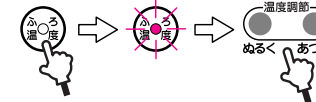
●増設リモコンでは、この操作はできません。

1 運転 を押し「入」にする。

台所リモコンと増設リモコンの運転スイッチが緑色に光り、浴室リモコンは表示画面が点灯します。

2 風呂温度を設定する。

台所リモコンで操作する場合
風呂温度スイッチを押して風呂温度ランプが点灯してから、温度調節スイッチを押します。



浴室リモコンで操作する場合
風呂温度スイッチを押します。



3 表示画面で風呂温度表示を確認する。

台所リモコンでは、風呂温度表示と給湯温度表示は同じところに現れます。
※台所リモコンの風呂表示は、風呂設定温度が表示されているときに一緒に点灯します。

仕組み

風呂温度のめやす

- 設定できる温度は 37℃～48℃ の 12 段階です。
- 1 回、スイッチを押すと、1℃変わります。
- を押しつづけると 45℃までは連続で変わります。
46℃以上にするときは一回づつ押してください。



- 表示している温度と実際の温度は必ずしも一致しません。目安としてください。
- 湯はり運転中も、風呂設定温度を変更することができます。
- 一度設定した風呂設定温度は、変更するまで記憶しています。

お湯が出なくなったら

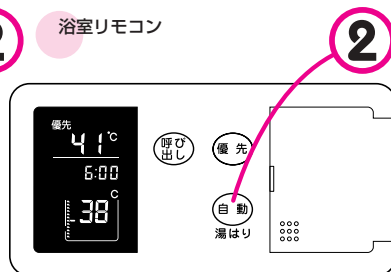
お風呂に湯はりするとき

湯はりのオートストップ機能（23～24ページ）を使って湯はり操作をすると、湯はり
は自動的に終了しますが、このままではお湯が使えなくなります。
どこかの給湯栓を開いてもお湯が出てこない場合は、必ず下記の手順に従って湯はり運
転を解除してください。

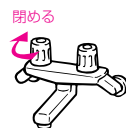
台所リモコン



浴室リモコン



- すべての給湯栓を閉める。
浴室だけでなく、その他の場所の給湯栓も、開いたまま
になっていないかご確認ください。



- 点滅中の「自動湯はり」を押して、「切」にする。
これで、再びお湯が使えるようになります。
この機器は使用状況によってさまざまな音声でガイドします。下記はその一例で
すが、これ以外の音声が出た場合もその指示に従って操作してください。

仕組み

こんな音声が出るのはどんなとき？

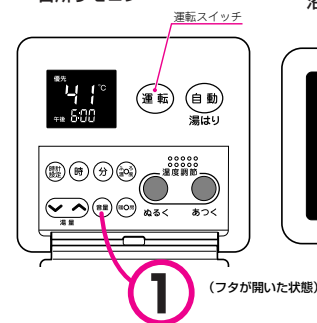
- 「蛇口が開いていませんか？一度すべての蛇口を開めてください。」
すべての給湯栓を閉めずに点滅中の湯はり(または運転)スイッチを押すと、湯はり(または運転)スイッチは
消灯しますが約1分間少量のお湯(または水)を流しながらこの音声が出ます。すべての給湯栓を開めてく
ださい。
- 「お湯が使用できません。すべての蛇口を開めてから湯はりスイッチを押してください。」
上記の状態約1分間少量のお湯が出ている間に給湯栓が閉められなかった場合や、湯はりに湯はりス
イッチを押してしまった場合、この音声が出て機器が自動的に止水します。湯はりスイッチは点滅したま
まになりますので、必ずすべての給湯栓を開めてから湯はりスイッチを「切」にしてください。
- 「すべての蛇口を開めてから運転スイッチを押してください。」
湯はりに運転スイッチを押して「切」にしたまま約1分以上給湯栓を開閉忘れていませんか？音声に従
い、すべての給湯栓を開めてから運転スイッチを押してください。

音声の大きさを変える

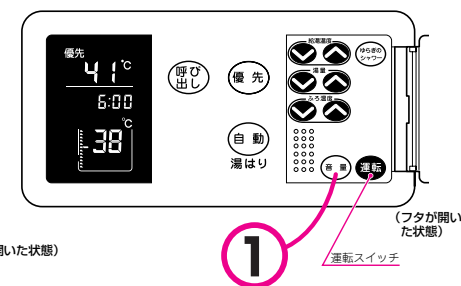
その他の機能

リモコンから出る音声の大きさを変えることができます。
台所リモコン・浴室リモコンともそれぞれで操作してください。
増設リモコンSC-70-KGにはこの機能はありません。(音声も出ません)

台所リモコン



浴室リモコン

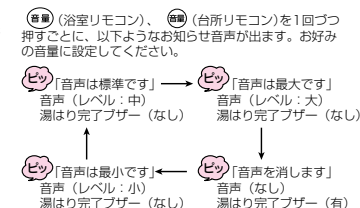


- 音量(台所リモコン)または音量(浴室
リモコン)を押す。
(運転)の「入・切」に関係なく操作できます。

仕組み

音量について

- お買い上げの際は、音声は中(標準)・湯はり完
了ブザーはなしに、セットされています。
- 音量を小さくすると、お知らせ音が聞こえにく
いことがありますのでご注意ください。
- 一度設定した音量は変更するまで記憶していま
す。
- 音声を消しても、注意を喚起する音声だけは消
すことはできません。



取扱説明書

ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

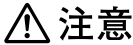
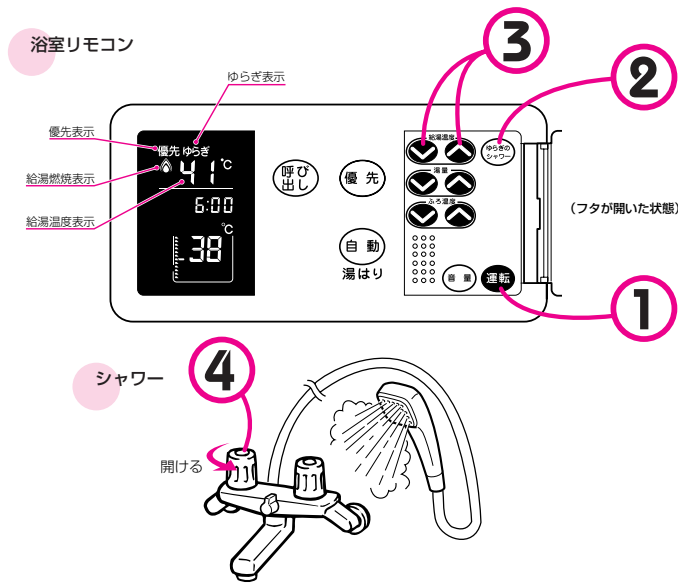
110093100279
110093100280
110093100281

01

ゆらぎのシャワーを使う

その他の機能

湯あがりの体が暖まっているときにゆらぎのシャワーを使用すると、湯ざめの防止・全身のマッサージとともに心身のリフレッシュにも効果があります。さらに、朝のめざめ促進にも有効です。浴室リモコンで操作します。浴室リモコン IBR-03A-V を設置していない場合には、この機能はありません。



注意

ゆらぎのシャワー使用時には…

- 高温で給湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- やけど防止のため、お風呂（特にシャワー）の使用中は、絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
- 下記の方はゆらぎのシャワーを使用すると体調をくずすことがあります。
 - ・ 妊娠中の方
 - ・ 医者から入浴を禁じられている方
 - ・ お酒を飲んだあとや深酒をされた方
 - ・ 高血圧の方／体力の弱っている方／体調の悪い方

1 表示画面が点灯していることを確認する。

表示画面が点灯していないときは、**進断** を押して、表示画面を点灯状態にします。

2 **ゆらぎのシャワー** を押す。

表示画面にゆらぎ表示が出ます。（優先表示も点灯します）

3 **給湯温度** を押して、シャワーの温度を決める。

設定できる温度は、39℃～44℃の6段階です。
給湯設定温度が上記以外のときに **ゆらぎのシャワー** を押すと、設定温度が 37℃・38℃のときには 39℃、45℃以上のときには 44℃のゆらぎのシャワーになります。

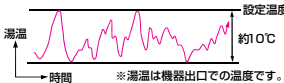
4 シャワー栓を開いて、ゆらぎのシャワーを使う。

表示画面にゆらぎ表示とともに、給湯燃焼表示が点灯します。
ゆらぎのシャワーは連続で 15 分間使用できます。15 分経過後は、手順 ③ で設定したお湯の温度が出ます。
15 分経過しないうちにシャワー栓を閉じると、ゆらぎのシャワーは自動的に終了し、表示画面のゆらぎ表示も消灯します。
※ゆらぎのシャワーを終了したあとは、必ず給湯温度表示を確認してください。
給湯温度 を押す前の給湯設定温度が 37℃、38℃、45℃以上だったときは、手順 ③ で給湯温度を変更しなかった場合でも、ゆらぎのシャワー終了後も給湯設定温度はそれぞれ 39℃、39℃、44℃となります。

仕組み

ゆらぎのシャワーについて

- ゆらぎのシャワーは、リモコンで設定された給湯温度とそれより約 10℃ ぬるい温度間で、毎回違ったパターンで湯温がゆらぎながら出てきます。
- ゆらぎのシャワー使用中に他の給湯栓でお湯を使うと、ゆらぎのシャワー同様に湯温が変化しながら出てきます。
- ゆらぎのシャワー使用中に浴室リモコンの優先スイッチを押すと、優先権が台所リモコン（および増設リモコン）に移り、給湯設定温度も台所リモコン（および増設リモコン）で設定されていた温度に戻りますので、ゆらぎのシャワー使用中は優先スイッチを押さないでください。
- 給水温が高い場合や、シャワー流量が少ない場合、またサーモスタット式混合水栓などの付いたシャワーでは快適なゆらぎのシャワーの効果が得られないことがあります。
- サーモスタット式混合水栓の場合は、混合水栓の設定温度を高温にして水を混ぜずにお使いください。なお、やけど防止のため使用後はもとの設定に戻しておいてください。



取扱説明書

ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

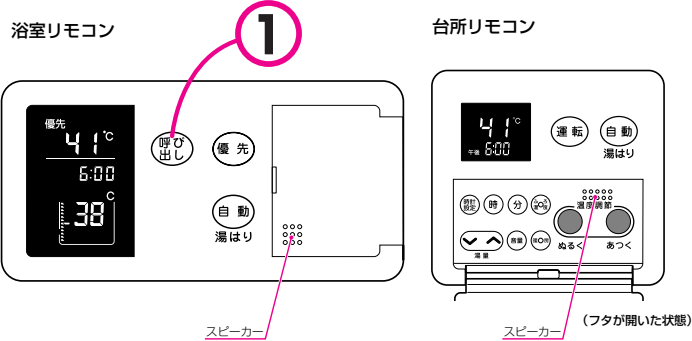
110093100279
110093100280
110093100281

01

浴室から人を呼びたいとき

その他の機能

浴室リモコンを設置の場合、台所リモコンから呼び出し音を鳴らすことができます。
(台所リモコンと浴室リモコンを設置している場合のみ)



1 呼び出しを押す。

台所リモコンのスピーカから「ピーッビビビ」約5回、浴室リモコンはスイッチを押している間「ピーッビッ」と鳴ります。

暖房を使う

その他の機能

放熱機や床暖房コントローラで操作します。

⚠ 注意

- 床暖房の上に電気カーペットを敷かないでください。床材の割れ、そり、隙間の原因となります。
- カーペット式床暖房の上に鋭利なものを落としたり、刺したりしないでください。温水パイプが破損し水漏れなどの原因となります。
- パネルヒーターの表面にさわらないでください。やけどするおそれがあります。特に、小さなお子様にはご注意ください。
- 床暖房の上で高い温度に設定したまま、長時間、座ったり寝そべっていると低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周囲の方の気配りが必要です。
 - ① 乳幼児・寝たきりのお年寄り・ご病人など、自分の意志で体を動かせない方
 - ② 疲労の激しいとき
 - ③ 皮膚の弱い方
 - ④ 皮膚感覚の弱い方
 - ⑤ お酒や睡眠薬を飲まれた方

1 暖房する部屋の放熱機や床暖房コントローラの運転スイッチを「入」にし、お好みの温度に調節します。(放熱機(暖房)の取扱説明書もご覧ください。)

暖房運転中は、台所リモコンおよび増設リモコンの表示画面には燃焼表示が、浴室リモコンの表示画面にはふろ・暖房燃焼表示が、それぞれ点灯します。

台所リモコンの表示画面

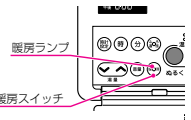
浴室リモコンの表示画面



💡 ヒント

暖房スイッチの使いかた… (IKR-03A-DV の場合)

- 放熱機側を暖房「入」にしても機器の暖房運転ができない場合は、台所リモコンのフタの中にある暖房スイッチを「入」にしてから、放熱機を操作してください。
 - 暖房スイッチが「入」のときは、暖房スイッチ中央の暖房ランプ (オレンジ色) が点灯します。
- ※暖房スイッチは運転スイッチの「入」「切」に関係なくはたらきます。



取扱説明書

ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

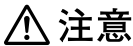
110093100279
110093100280
110093100281

01

冬期の凍結による破損予防について

凍結予防

暖かい地域でお使いのお客様も、必ずお読みください。



注意

- 冬期は暖かい地方でも、機器や配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 冬期に長期間機器を使用しないときは、必ず「水抜きによる凍結予防」を行ってください。
- 凍結による故障の場合は、保証期間内でも有償修理となります。

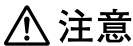
1

凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による凍結予防

①電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。

この機器には、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒーター（給湯側）と、自動的に暖房燃焼をして暖房水を循環させて凍結予防する自動ポンプ運転装置（暖房側）が組み込まれています。電源プラグがコンセントから抜けていると凍結予防ヒーターと自動ポンプは作動しませんのでご注意ください。

※必ず端末の取扱説明書もご覧になり、適切な処置をしてください。不凍液を入れる方法もあります。



注意

- 外気温が極端に低く（－15℃以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日はこの装置では凍結予防できなくなります。このような場合には「**2** 給湯栓から水を流す凍結予防」、「**3** 水抜きによる凍結予防」のいずれかを行ってください。

2

給湯栓から水を流す凍結予防

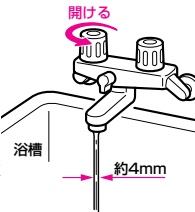
- この方法は、機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結予防もできます。
- ※暖房側は、ポンプ運転により凍結を予防しますので、「**1** 凍結予防ヒーターと自動ポンプ運転による凍結予防」と同様に、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

①リモコンの運転スイッチを「切」にする。

②ガス栓が全開になっていることを確認する。（暖房の凍結予防のため）

③お風呂の給湯栓を開け、1 分間に約 400 ミリリットルの水を流しておきます。

- ※浴槽の排水栓を開めた状態で行うと、浴槽から水があふれることがあります。
- ※サーモスタット式やシングルレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
- ※シャワーヘッドから水を流す場合、シャワーヘッドを浴槽内に落ち込まないような位置で固定してください。



注意

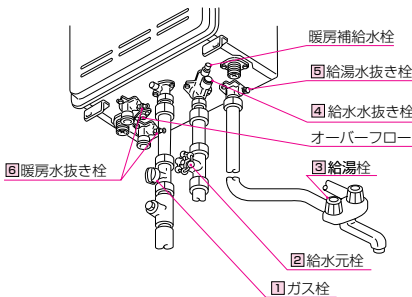
- 流量（水の出具合）が不安定になることがあります。念のため、30 分ぐらい後にもう一度流量（水の出具合）をご確認ください。
- サーモスタット式やシングルレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

3

水抜きによる凍結予防

- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときにも、必ずこの「水抜き」を行ってください。
- ※給湯使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

■ 給湯側の水抜き



①ガス栓①・給水元栓②を閉める。

寒冷地などで不凍栓使用時は不凍栓を開め、給水元栓②を開けてください。

②湯はり運転が解除されていることを確認してから、リモコンの運転スイッチを「切」にする。

③電源プラグを抜く。（分電盤の専用スイッチを「切」にする）

④給湯栓③をすべて（シャワーなどを含む）全開にする。

⑤給水水抜き栓④、給湯水抜き栓⑤を開ける。

※以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

取扱説明書

ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

110093100279
110093100280
110093100281

01

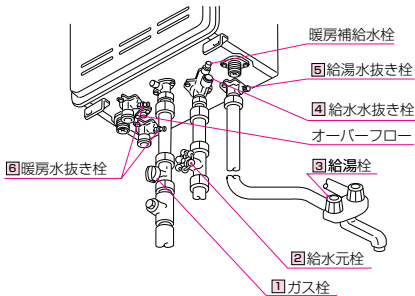
冬期の凍結による破損予防について

凍結予防

■ 暖房側の水抜き

※暖房側の《水抜き》は不凍液が入っていない場合に、長期間にわたって機器を使用せず電源プラグを抜く（分電盤の専用スイッチを「切」にする）ときのみ行ってください。

不凍液注入の有無はフロントカバー右下に貼付されているラベルで確認してください。



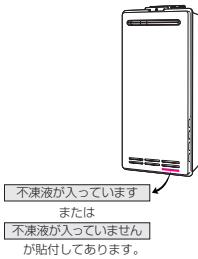
①ガス栓①・給水元栓②を閉める。

寒冷地などで不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓②を開けてください。

③暖房水抜き栓⑥を開ける。

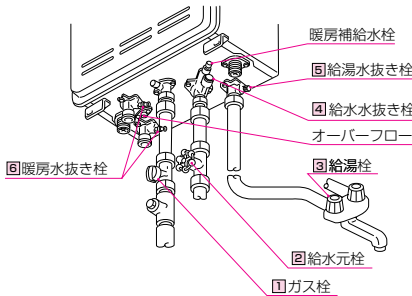
※リモコンの表示画面に故障表示が点滅しますが、異常ではありません。

④電源プラグを抜く。（分電盤の専用スイッチを「切」にしてください）



《水抜き》をした機器を、次に使うときは…

• はじめてご使用になる場合や、水抜き後の再使用の場合は機器に注水してください。



①電源プラグが抜いてある（分電盤の専用スイッチが『切』になっている）ことを確認する。

②ガス栓①が閉めてあることを確認する。

③給湯栓③をすべて（シャワーなどを含む）閉める。

④給水水抜き栓④、給湯水抜き栓⑤を閉める。

⑤暖房水抜き栓⑥を閉める。

⑥給水元栓②を全開にする。

⑦給湯栓③を開け、通水を確認した後に閉める。

⑧電源プラグをコンセントに差し込む。（分電盤の専用スイッチを『入』にする）

⑨リモコンの運転スイッチが『切』になっていることを確認した後、ガス栓①を全開にする。

※時刻表示や給湯温度表示などを確認し、必要に応じて調節してください。

※通水後初めて暖房を使用する際、リモコンの表示画面に故障表示「543」が点滅することがあります。その場合は暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し電源を「切」にした後、再度「入」にしてください。

長期間使用しないとき

凍結予防

長期間で使用にならない場合は、次のことを行っておいてください。

1 ガス栓を閉める。

機器の下部にガス栓があります。



2 給水元栓を閉める。

機器の下部に給水元栓があります。



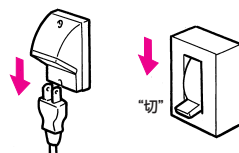
3 機器の水抜きをする。

〔P36-37「水抜きによる凍結予防」〕



4 電源プラグが抜いてあることを確認する。

機器付近の壁・分電盤。



警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない

- 電源プラグをコンセントから抜く際は、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。



点検のポイントとお手入れ

点検・お手入れ

安全にお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。
機器などのお手入れは機器が冷めてから行ってください。

日常の点検

点検のポイント－機器周辺の状態

- 機器のまわりおよび排気口のそばに燃えやすい物はありませんか？
- 排気口をなにかがふさいでいませんか？詳しくは・・・

〔P3「引火のおそれのあるものの使用禁止 スプレー缶厳禁」、P4「可燃物に注意」〕

点検のポイント－機器の状態

- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- 機器および配管からガスの臭気はありませんか？
- 運転中に機器から異常燃焼（点火時や使用時にゴーと音がするような燃焼）や異常音は聞こえますか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- 万一異常を感じたときは・・・

〔P2「ガス漏れ時の処置」〕

〔P4「異常時の処置 地震・火災などの緊急のときには」〕

- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルについては販売店にお問い合わせください。

お願い

定期点検のすすめ（有料）

- 安心してお使いいただくために、定期的に（年に一回程度）点検を受けていただくことをおすすめします。

〔P45「サービスを依頼されるとき」〕

- 万一使用中に異常音、排気に不快な臭い、目にしみるなどの異常に気づいたときは・・・

〔P4「異常時の処置 地震・火災などの緊急のときには」〕

日常のお手入れ

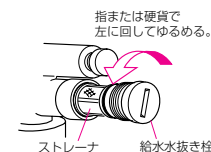
機器とリモコンのお手入れ

- 機器の汚れがひどいときや、リモコンの表示画面を掃除するときには水にぬらした柔らかい布を固くしぼって軽くふき取ってください。
台所リモコンは防水タイプではありません。浴室リモコンは防水タイプですが、むやみに水をかけないでください。故障の原因となります。

〔P9「お手入れの際の注意」〕

- 給水水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは給水元栓を閉めてから給水水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。

※必ず、給水元栓を閉めてから行ってください。



給湯栓のお手入れ

- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものは、ときどき内部フィルターを掃除してください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

修理を依頼される前に

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

こんなとき	点検項目
表示画面が点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(P15) 停電していませんか。
故障表示が点滅する	運転スイッチを「切」にし、約3秒後、もう一度「入」にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。(P43)
「湯はりスイッチ」を押しても動かない。	給水元栓が全開になっていますか。(P15) 断水していませんか。
湯はり時間が長くなる	他の場所でお湯を使っていますか。 (湯はり中に給湯を使用すると、その分だけ湯はり量が少なくなります) (P24)
「燃焼表示」「ふろ・暖房燃焼表示」のランプが点灯しない	ガス栓が全開になっていますか。(P15) 給水元栓が全開になっていますか。(P15)
お湯が出ない	断水していませんか。 給湯栓が十分開いていますか。
高温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか。 給湯温度調節は適切ですか。(P19-20)
低温のお湯が出ない	サーモスタット式など混合水栓をお使いの場合は、リモコンの給湯温度を60℃または75℃に設定してください。
湯温が変動して安定しない	ゆらぎのシャワーになっていませんか。(P31-32) 運転スイッチを「切」にしてスムーズに通水することを確認した後お湯の蛇口を閉め、約20秒後に再操作してください。それでも異常のときは故障(水量制御装置)ですので、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。
家中のお湯が出なくなった	湯はり運転をしたまお湯の蛇口を閉め忘れていませんか？このとき湯はりスイッチ(赤)は点滅します。一旦すべての給湯栓を閉めてから湯はりスイッチを「切」にしてください。(P29)
浴槽のお湯があつい(ぬるい)	湯はり温度の設定は適切ですか。(P27-28)
浴槽のお湯が少ない(多い)	湯はり量の設定は適切ですか。 浴槽の残り湯がある状態で湯はり運転をすると、その分だけ水位が高くなります。混合水栓などをお使いの場合、湯はりのときに給水栓を開いていませんか？その分だけ浴槽のお湯が多くなり、湯温はぬるくなります。(P26)
使用中に消火した	ガスメータ(マイコンメータ)がガスを遮断していませんか。

こんな場合は故障ではありません

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではありませんのでご安心ください。

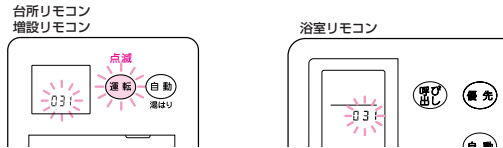
こんなとき	理 由
給湯栓を絞らずで水になった	この機器は通水量が毎分2リットル以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯がぬるい(混合水栓の場合)	水が混ざってお湯がぬるくなることがあります。
ゆらぎのシャワーができない	夏期などは、給水温が高くなりゆらぎのシャワーの効果が得られないため、機器が自動的にゆらぎのシャワー運転を停止させるためです。また、配管が長い場合は湯量が少なくなることがあります。
ゆらぎのシャワーのお湯がゆらぎながら出ない	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダーなどの泡と似た現象であり、汚濁とは違ってまったく無害なものです。
お湯が白く濁って見える	外気温が低いときは燃焼排ガス中の水蒸気が白煙に見えますが、故障ではありません。
寒い日、排気口から白煙が出る	凍結による破損予防のため、凍結予防運転を行います。
冬期など寒いとき暖房ポンプが自動的に動く、または燃焼する	機器からお湯の蛇口までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
お湯の蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	ときどき(1カ月に一度)機器を使用していないのにポンプの回転音(ウーンという音)がする
リモコンの表示よりあつい(ぬるい)お湯が出る	暖房回路の空気抜きを行うため、約1カ月に一回暖房ポンプが自動的に回転することがあります。異常ではありません。
給湯栓が高い場合は表示よりあついお湯が、湯量が給湯能力以上の場合は表示よりぬるいお湯が出ることがあります。	湯はり中は表示とは異なる温度のお湯が出ることがあります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため出湯停止後もしばらく回転しています。
湯はり終了後、蛇口から少量のお湯が出てすぐに止まらない	これは配管中のお湯が一時的に出る「後ダレ」現象です。蛇口を開めてから湯はりスイッチを押して「切」にしてください。
浴槽のお湯が少ない	湯はり運転中(湯はりスイッチ(赤)点灯中)に、台所などでお湯を使用すると、その分湯はり量は少なくなります。
湯はりスイッチが「切」のとき(赤く光っていないとき)に湯はりを行っても自動停止しません。	湯はり途中(設定湯量の半分以上湯はりした後)に蛇口を閉めて湯はりを中断した後、再度蛇口を開いて湯はりを続けた場合は自動停止しません。これは設定湯量の半分以上湯はりした後蛇口を閉めると、その時点で湯はり運転がキャンセルされるためです。
浴槽からお湯があふれる(湯はりが自動停止しない)	温度調節機能付(サーモスタット式)混合水栓をご使用の場合は、機器の湯はりのオートストップ機能が正常に働いた後も冷水が少量、出たままになることがあります。(P25)
湯はりが終了しても蛇口から冷水が出る	停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が「  -:-」になります。再度設定しなおしてください。(P16)
時刻表示が「  -:-」になっている(台所リモコン設置時のみ)	機器内部の配管にたまった水が熱で膨張するなどして、一時的に配管内部に水圧が高くなったのを機器が調整しているためで、異常ではありません。
迷し弁(給湯水抜き栓付近)から、お湯(水)が少しの間出ることがある	

※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。

故障表示

故障かな？と思ったら

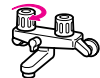
機器が故障するとリモコンの表示画面の時刻表示部に下表のような故障表示が点滅し、台所リモコン・増設リモコンでは運転スイッチ（緑）も点滅します。



故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態	故障表示	使用状態
031	自動	140	給湯自動暖房	433	給湯自動暖房	710	給湯自動暖房
101	給湯自動	161	給湯自動	521	給湯自動	721	給湯自動
103	暖房	173	給湯自動暖房	523	暖房	723	暖房
111	給湯自動	190	給湯自動暖房	543	給湯自動暖房	901	給湯自動
113	暖房	310	給湯自動暖房	611	給湯自動暖房	903	暖房
121	給湯自動	313	暖房	613	給湯自動暖房	991	給湯自動
123	暖房	321	給湯自動	651	自動	993	暖房

■ 故障表示が点滅したときは、次の操作をしてください。

- ①ガス栓と給水元栓が十分開けてあるか確認する。
- ②お湯を使っている場所では、給湯栓を閉める。
- ③運転スイッチを「切」にして、再び「入」にする。
- ④再び使用してみる。



■ 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

101 または 103 を表示しているときは、お湯または暖房を使うことはできますが、給排気異常により十分な給湯能力または暖房が出ない状態ですので、気が付いたらすぐにお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。

※リモコンの故障などの場合は、表示画面が点灯しなくなりますが、お湯を使うことはできるようになっています。ただしこの場合、高温（約60℃）のお湯が出ますので、使用には十分ご注意ください。

仕様

仕様

仕様表

分類名称		給湯暖房用熱源機		
品名	ID-2803ARS-Q	ID-2803ARS2-Q	ID-2803ARS7-Q	
型式名	RUH-VK1610W	RUH-VK1610A	RUH-VK1610BOX	
設置方式	屋外壁掛設置またはパイプシャフト設置	パイプシャフト（屋内）設置またはPSアルコープ設置	壁埋込設置	
外形寸法	幅 350 × 奥行 180 × 高さ 750 (mm)			
製品質量	26kg			
接続口	ガス	15A (R1/2)		
	給水・給湯	15A (R1/2)		
	暖房(往・戻)	CCHジョイント用継手		
	※給湯能力	16～3号		
	最低作動水圧	10kPa (0.10kgf/cm ²)		
最低作動水量	2.7L/min			
希望水圧	98.1kPa (1kgf/cm ²) ～ 491kPa (5kgf/cm ²)			
電気関係	電源	AC100V (50Hz/60Hz)		
	※消費電力 (50Hz/60Hz)	97/110W		
	点火方式	(常時 4W、凍結予防ヒータ作動時 92W)		
		連続放電点火方式（ダイレクト方式）		
制御装置	ガス	ガス比例制御		
	水	水量比例制御		
安全装置		立消え安全装置、空だき安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、過電流防止装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、漏電安全装置、沸騰防止装置、熱交換器過熱防止装置		

※給湯能力、消費電力はガス種により多少異なります。

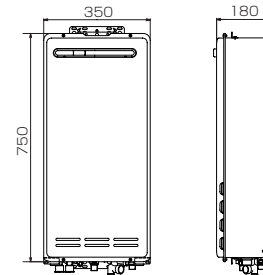
能力表

使用ガス (使用ガスグループ)	1時間当たりのガス消費量 kW (kcal/h)		出湯能力 (L/min)	
	同時使用時	給湯	暖房	水温+25℃上昇 水温+40℃上昇
13A	42.2 (36,250)	34.9 (30,000)	7.27 (6,250)	16.0 10.0
12A	39.3 (33,800)	32.6 (28,000)	6.76 (5,800)	15.0 9.4

- ガスはJISに規定する標準ガス・標準圧力のときの表示です。
- 出湯能力は水温・水圧により多少異なります。

外形寸法図

単位: mm(ミリメートル)



- 機種により、排気口部の形状などが異なります。

※本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

取扱説明書

ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

110093100279
110093100280
110093100281

01

アフターサービスについて

サービス

アフターサービスはお買い上げの販売店またはもよりの東京ガスへお気軽にお申し付けください。

サービスを依頼されるとき

●まずP41の「修理を依頼される前に」、P42「こんな場合は故障ではありません」、P43「故障表示」をご確認ください。確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓、給水元栓を閉め、電源プラグを抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）から、お買い上げの販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。

- 1 お名前・ご住所・電話番号
- 2 品名（機器前面の品名をご覧ください）
- 3 現象（リモコン表示部の状態または故障表示番号などできるだけ詳しく）
- 4 訪問希望日・時

保証について

●46ページが保証書になっています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめになり、保証内容をよく読んでください。
●保証期間経過後の故障については、修理により製品の機能が維持できる場合、ご希望により有料で修理いたします。

機器を移転するとき

●ガス種が異なる地域へ機器を移転されるときは機器の調整、改造が必要となります。販売店または転居先のガス事業者（供給業者）へご相談ください。ガス種によっては機器の改造ができないことがあります。
●電源電圧が一致しないときは電気工事店へ電源電圧の変更を依頼してください。
●増改築などのために機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要になりますので、必ず販売店またはもよりの東京ガスへご連絡ください。
●移設・移転に伴う調整や工事の費用は有料です。
●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。足場などを組まなければ修理できないような高所には設置しないよう設置時に販売店にお願いしてください。

補修用性能部品の保有期間について

●この製品（BL認定品）の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。
BL認定品には、製品の前面に右のうちのいずれかの表示があります。
●性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。



保証書

品名 ID-2803ARS-Q
ID-2803ARS2-Q
ID-2803ARS7-Q

型式名

RUH-VK1610W
RUH-VK1610A
RUH-VK1610BOX

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体（リモコンを含む）を対象にします。なお下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
①内胴・電装基板・リモコン（電装基板に起因する故障のみ）……5年
②ポンプ・ファンモーター……3年
2. 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3. サービス員がお伺いした時に、保証書をご提示下さい。
4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
(1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
(2) 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
(3) 器具を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合はのぞきます）
(4) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
(5) 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
(7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
(8) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
(9) 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
(10) 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことによる不具合
(11) 給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
(12) 温泉水、井戸水等を給水したことによる不具合
(13) 本保証書を紛失された場合
5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者

東京ガス株式会社

〒105-8527 東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者

株式会社 ガスター

〒242-8577 神奈川県大和市深見台3-4

■ お買い上げ日および販売店

お 買 い 上 げ 日	平成	年	月	日
-------------	----	---	---	---

販 売 店 名	扱 者 印	
住 所		
電 話 番 号		

■ 修理記録

この本体の修理記録は、本体のフロントカバーの裏に付属の故障診断シートに記録します。

■ お客さまへ

1. この保証書をお受け取りになる時に、販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行しませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。